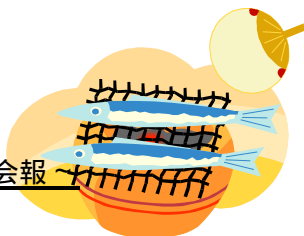


べい ほう 米 峰

～柏崎マリーナ会報～



発行日 平成 15 年 10 月 (第 6 号)

発行者 新潟県柏崎マリーナ

〒945 0845 新潟県柏崎市東の輪町 8 18

:0257 21 1255 FAX:0257 21 1670

E-mail k marina@orion.ocn.ne.jp

シーズンも終盤を迎えましたがこの夏は、梅雨明けが遅れた上に梅雨が明けてからも晴天の日が少なく、たまに晴れても長続きしないというシーズンでした。そんな中でも今年は、昨年よりもグレードアップしたマリーナ売店をはじめ、ヨットの体験乗船会や柏崎市のイベント「日本ぐるっと一周海交流」のプレ開催、6月の免許制度改正後、初の1級進級講習会の開催などが行なわれました。また、今回は残念ながら台風で中止となってしまったイベントなどもありました。

一方、釣果の方はというと、限られた出港数の中、例年を上回る勢いで大小たくさんの真鯛があがる当たり年でした。天候ばかりはどうにもならないものですが、その中でも自分なりの楽しみ方を見つけられれば、遊びの幅も広がっていくのではないのでしょうか。

体験乗船



講習会



真鯛



お知らせ

港口浚渫^{しゅんせつ}について

本年度も、冬期間港口に漂砂が堆積することが予想されます。本日現在は、漂砂のために航行出来ないエリアはありませんが、新潟県も11月上旬から天候を見ながら浚渫を開始する体制をとりましたのでお知らせいたします。なお、浚渫エリア明示の為、赤旗等を設置することがありますが、航行には支障がありません。当面通常の出入港コースをとって貰って結構です(旗は避けてお通り下さい。)ので、併せてご案内いたします。詳細及び状況について変更があった場合は、マリーナに掲示いたします。不明な点はお問い合わせください。

海技免状更新・失効講習会のお知らせ

毎年開催しております更新・失効講習会を、2月初旬の日曜日に予定しております。該当の方々には、個々にご案内を差し上げますが、お知り合いの方などでご希望の方がいらっしゃいましたら、マリーナまでお問い合わせください。また、開催日など詳細については、11月後半には確定致しますのでご確認ください。

なお、1級5ト限定の進級講習会(11/22、23)の申込締切は今月10月末日を持って締め切らせていただきますので、宜しくお願いいたします。

共同上架のご案内

<日 時> 11月 8日(土) 9:00~12:00

11月12日(水) 9:00~12:00 両日大型桟橋艇の共同上架を実施いたします。

詳細はマリーナまでお問い合わせください。当日は駐車場等の混雑により他の利用者の方々にはご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

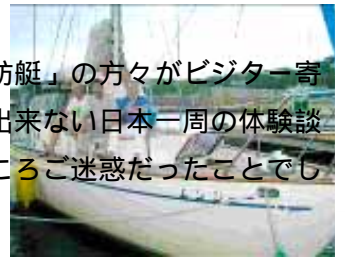
年末・年始の休港日について

12月29日(月)~1月3日(土)まで休港いたします。新年は1月4日(日)から営業を開始いたします。なお、マリーナへはカードキーによって常時出入り可能です。

会員懇親会 今年も「柏崎マリーナ会員懇親会」を12月6日(土)に開催いたしますので、皆様お誘いあわせの上ぜひご参加ください。(別紙に申込書を同封いたしましたのでご利用ください)

特集 日本一周クルージングヨット「暢気訪艇」柏崎マリーナに寄港す！

去る8月29日(金) 当柏崎マリーナに、ヨットで日本一周中のグループ「暢気訪艇」の方々がピジター寄港されました。そこで、せっかくの機会ですので、普段私たちがあまり聞くことのない日本一周の体験談など聞かせていただければと思います、メンバーのみなさまにはお疲れになっているところご迷惑だったことでしょうか、お話を聞かせていただきました。



目的・動機

メンバー全員同じ大学のヨット部仲間(40年来の付き合い) 定年を機に長年の夢だった世界一周クルージングの足がかりとして、まず日本一周をしようじゃないかということで計画・準備をはじめたとのこと。

日程

H15.5.5~H16.5.5の一年間の日程で、ホームポートであるヴェラシスマリーナ(神奈川県横須賀市)から北回りでスタート。1日40マイルのデイクルーズが基本。明るく・楽しく・無理をしない航海をモットーに、船名のとおり「のんき」に全国を「訪れる船」として現在も寒さを避けるように、ひたすら南下中です。

メンバー

総勢6人(平均年齢62歳)のクルーで、お話を伺っている最中もみなさん生き生きとして年齢を感じさせない素敵な方々でした。日本一周というとシングルハンドがほとんどですが、シングルハンドと違い、複数での航海は何かとお互いに気を使うものです。しかしその点については、皆さん付き合いも長い事に加え、気心も知れた仲間同士なので、それぞれが自分なりの楽しみ方をしているとのことで、船内にはリラックスした雰囲気は漂っていました。しかしそこは集団生活。船内での役割分担も決まっており、長い航海中トラブルの無い様それぞれが責任を持って仕事を受け持つ。これがうまくいく秘訣なんのでしょうか。お話を聞いていて、うらやましく思いました。



船について

船名は「レンジャー5」(暢気訪艇は今回限りの名称で正式には左記名)で船の概要は(パシフィック40(台湾製)進水:S63.9、長さ:11.63m、幅:3.85m、深さ:1.69m、総トン数:10ト)今まで何艇も乗り継いできたが、これだという船にはめぐり合えず、この船は艇長いわく「15年経つ今でもまったく飽きが来なく、まるで運命の女性に出会ったようなものですよ。」と非常にお気に入りの様子でした。

この航海に際し新たに購入した主な艀装品で特に役立っている物は、濃霧でまったくの無視界状態でも心強い「GPSプロッタ魚探レーダー(一体機)」そして荒れた日の航海に必須の「ドジャー(操船者を風雨から守るカバー)」これが無いと話にならないくらい重宝しているとのこと。そして、船内での生活を飛躍的に快適にする「発電機」。おかげで広い船内はガンガンと効いているエアコンの中、音楽が流れ、ノートパソコンでインターネット、明るい照明の下では読書と船内にいるむさくるしさは皆無に等しいと言えます。日常生活する環境の変化をできるだけ抑え、船上生活を楽しむ。これが「暢気訪艇流」なのかと感心させられました。



航海中の出来事

いままで100港近く回ったが、航海中の景色が美しいことはもちろんのこと、見ず知らずのよそ者に、カニを差し入れしてくれたり、車で観光に連れて行ってくれたり、係留場所に誘導してくれたり、みなとみなとでの人との出会いが一番印象に残っているとのこと、航海中に大変だったことは?との質問には「毎日が感動の連続で、大変だったことはあまり印象に残っていない!」との返事でした。

また、奥様などご家族の方とは大きな港で(函館・小樽など)待ち合わせをして、たまに会って一緒に食事

をしたり、観光をしたりしているとのことで、「定年後、毎日顔を突き合わせているよりも、お互いの生活をエンジョイ出来ていいんじゃない。」とのことでした・・・。



あとがき

一般に、日本一周などと言うと経済的にも時間的にも余裕のある方が多い様に思われますが、お話を伺うと、同じように会社を退職し、日本一周を目指す大勢のヨットマンに寄港先の港で出会ったとのこと。そして、それぞれの航海を語り合い、情報交換をし、同じ海を同じ目的で航海している人間がじつに大勢いることに心強く思われたそうです。

お話の最後には「これからは、限られた予算内で日本一周を計画するサラリーマンリタイア組の方がどんどん増えてくるだろう」ともおっしゃっておられました。

「暢気訪艇」公開HPアドレス www.tapu2.no-ip.com/~susquehanna/ ぜひ、ご覧になってください！

おさかな事典 第6回 「バショウカジキ」 スズキ目マカジキ科

去る9/17 柏崎沖で、なんと！体長2.8m、70kgの「バショウカジキ」が釣れたとのうわさを聞き、早速その船長にお話を伺いました。（残念ながらマリーナの所属艇ではありませんが）以下船長談『当日早朝、つり船である船長の船は、数人の客を乗せていつものポイントめざして出港。現地に着いてしばらくハメ釣りの仕掛けを降ろし、客と海面を眺めながらアクリを待っていた。そのとき、突然船長の視線の先に、海面から長いくちばしと巨大な背びれが現れ、次の瞬間にはジャンプ。信じられない程大きなさかなが海面にその姿をあらわした。「おい、見ろ！バショウカジキだぞ」と船長が叫び、一同、偶然のカジキとの遭遇にしばし呆然とその華麗なジャンプを眺めていたらしい。そして、船長が次に目にしたのは、海面に突き刺さらんばかりにしている客の竿だった・・・。（後で分かったことですが、ハメの仕掛けを降ろしている途中、水深50mあたりでカジキがコセかごに喰らいつき、そのまま海面に向かって急上昇し前述のジャンプとなり、激しく頭を振り回しているうちにラインが体中に巻きついてしまったとのこと。）その後、船長の指示のもと、たった5号のか細いラインを切られない様、慎重なラインの巻き上げと舵さばきで40分間の格闘の末、竿を折りながらも3人がかりで船上に引き上げた。』と、事の全貌を語ってくださいました。実際に釣った船長にも初めての体験だったとの事で、話している最中も驚きと興奮を隠し切れない様子でした。ここで、この辺りではあまりなじみのない「カジキ」に関して、いろいろと調べてみましたので、今後狙ってみようという方は参考にしてください。

（解説）熱帯～温帯にかけて回遊し、日本では東北地方以南から台湾にかけての暖流に生息。その行動範囲はカジキ科の中でも特に広く、他のカジキよりも沿岸域に入る性質があるためか、しばしば定置網に掛かることもあるそうです。他の回遊魚と同じく餌となる小魚を追いかけ、春から夏にかけて北上し、秋から冬にかけて南下。体の特徴としてまず目を引くのが、カジキ科の中でも最大の桁外れに大きな背びれで、鮮やかな水色の斑点が美しい。その外観から芭蕉（バナ）の葉に似ている事もあり芭蕉カジキと呼ばれている。長く伸びた上アゴは硬くざらざらとしており、まるで鉄の棒やりの様だとか。サバ・イサなど集団で追い詰めた小魚を、この鉄の棒を左右に激しく振り回し、相手を殴りつけて弱ったところを捕食する！という強烈な狩りをするとのこと。ぜひ一度見てみたいものですね。普段は数尾ずつ集まって、背びれを水面から出して泳ぐことが多く、狩りの時には背びれ・腹びれを体の中に収納し水の抵抗を減らして高速で泳ぎ、表層部では、ほぼ生態系の頂点にいる魚です。外国ではその美しい背びれが帆船の帆に似ていることから、「SailFish」と呼ばれ、はく製でよく見かけることが多い気がします。体長は最大で3m前後となるそうですから今回のものは、ほぼ最大に近いのではないのでしょうか。

（食味）身は脂が少なく、赤味がかかったピンク色の肉質で、筋っぽいとのこと。カジキの仲間の中ではやや味が劣るとされ、照り焼き・ムニエル・安価な寿司刺しに利用されることが多いそうで、海外ではおもにスモークフィッシングの対象となっているそうです。

保管艇データ (平成15年10月現在)

(地域別内訳)

柏崎市内	82	46.9%
刈羽郡内	7	4.0%
新潟県内	66	37.7%
県外	20	11.4%
合計	175	

(艇種別内訳)

DY ディンギー	8	4.6%
UB 和船	12	6.9%
MB モーターボート	126	72.0%
CY クルザーヨット	29	16.6%
合計	175	

整備工場便り

柏崎マリーナ整備工場では例年行なっております(希望者のみ)シーズンオフのメンテナンスを11月下旬より行ないます。ボートを使用しない冬期間に各部を点検整備し、来シーズンをノントラブルで楽しんでいただきたいと願って実施しているものです。以下にその内容を記しますが、メーカー又は機種により異なりますので「参考」までにご覧ください。

エンジンオイルとエレメント(量・もれ)

ギアオイル(海水混入の有無)

Vベルト(キズ・張り具合)

電気・電装システム

燃料システム(ストレーナー・フィルターの清掃・交換)

冷却システム(インペラ・ホースなど)

リモコンケーブル、ステアリングケーブル

その他(ドライブ・プロペラ・ジンクアノード・ラバーペローなどなど)



以上について必要であれば交換、修理、調整等を行ないます。また、エンジン・ドライブ等は機械ものですから突然のトラブルは避けられませんが、シーズンオフにチェックし手入れすることで、大きなトラブルは未然に防げるものと考えております。しかし、トラブルを避ける最良の方法は、やはり普段から適度に動かすことです。船が車のように毎日使うものだったら、トラブルの数もぐっと少なくなると思うのですが…。

掲示板

船台キャスターのメンテナンス

シーズンオフのこれからの時期に、シーズン中に酷使した船台のキャスター(車輪)メンテナンスを毎年行なっております。内容は、ベアリングへのグリスアップで、キャスター内に浸入した海水の押し出しと、ベアリングの潤滑に欠かせない耐水グリス補充の2つの効果があります。少なくとも、1年に1回はキャスターのグリスアップを行なわないと、異常磨耗によるベアリングの破損にもつながり、船台を移動できない状態になってしまいます。これと同時にサビ落とし&サビ止め塗装も行なっており、消耗品とはいえキャスターが出来るだけ長く使用できる様なメンテナンスを心がけておりますので毎年のメンテナンスをご希望の方はご連絡ください。

海の情報提供ボランティア「^{うみもり}海守」詳しくはHPアドレス<http://www.umimori.jp/>まで

皆様には日頃、不審船や不法投棄・海難事故などを発見した場合、海上保安庁が運用する緊急番号「118」への通報をお願いしているわけですが、中にはいたずら等の悪質なものもあり、当局では情報の信憑性の確保という意味でも現在、会員登録された海の情報ボランティアである、「海守」を広く募集しています。参加に協力しても良いという方は、HP又はマリーナに「参加申込書」がありますので、お気軽に申し込みください。

